

臨床美術



▲思い思いの作品ができました

7月9日、峠田遊林館で社会福祉協議会主催の臨床美術がオンラインで行われました。今回初めてオイルパステルクレヨンを使用し、各自持ってきたきゅうりを題材に描きました。色んな色を組み合わせながら濃さや太さなどを工夫し、皆さん素敵な作品ができあがりました。「あんたのきゅうり美味しそうだ」「良い色してるね」などお互いに褒め合いながら完成した作品を眺めていました。

※臨床美術とは、楽しみながら作品をつくることで、脳と心を元気にする美術です。

小学校蕎麦種蒔き体験



▲蒔き方の説明を真剣に聞く子供たち

7月16日、湯原地区の山田益広さんの畑で、七ヶ宿小学校3・4年生による蕎麦の種蒔き体験が行われました。当日は快晴で30度を超える暑さの中、山田さんの指導のもと子供たちは汗を流しながら熱心に作業に取り組んでいました。子供たちは慣れない作業に苦戦しながらも、早く終わった人が遅れている人を手伝ったり、アドバイスをしたりしながら種を蒔いていました。

今回蒔いた蕎麦を使った蕎麦打ち体験も予定されています。

64歳以下新型コロナウイルスワクチン接種完了



▲接種後の健康確認の様子

12歳から64歳の接種を希望する住民等を対象とした新型コロナウイルスワクチン集団接種が7月18日で完了しました。ワクチン接種を終えた住民からは、「一回目の副反応はあまりなく、二回目が打って安心した」「他の市町村より早く終わりそうで良かった」といった声が聞かれました。

高齢者を含む町内の接種された方の割合は、接種対象者の87.3%になり、多くの方に接種していただくことができました。

移住者交流会



▲新たな発見ができた会となりました

6月20日、こ・らっしえを会場に移住者交流会が開催されました。新型コロナウイルス感染症対策をした上で、飲食をしながらの和やかな雰囲気の中、町の紹介や移住してきて感じるなどをお話ししました。中にはダム公園でこんなイベントをやりたい、こうしたらより良くなるのではと意見を出してくれた方もいました。今後は今回の意見を深掘りし、自分達でできることを考えていく意見交換会を定期的を実施する予定です。

かわいい金魚の押絵づくり



▲完成した作品を手に満面の笑み

6月29日、社会福祉協議会主催のフレイル予防事業が高齢者センターにおいて開催されました。介護予防を目的としているこの事業に、ボランティアと関地区から5名が参加し、ちりめんを使った押絵づくりに取り組みました。早く仕上がった方が他の方に教えたり、お互いに作品を褒め合うなど、参加者たちは仲良く、楽しいひとときを過ごしました。「早速玄関に飾ろう」と綺麗に出来上がった押絵を前に、参加した方たちも嬉しそうな面持ちでした。

ムーブメント教室開催



▲「おおきなかぶ」を抜こうと試みる子供たち

6月30日、七ヶ宿小学校の体育館で、低学年の児童と保育所すみれ組の幼児が参加するムーブメント教室が開催されました。子供たちは先生の指示に従いながらロープを使って体を動かしたり、先生による絵本の読み聞かせに聞き入ったりしていました。子供たちが一緒になって活動する場面では児童が幼児を手伝う場面があるなど、子供たち同士の交流も盛んに行われ、楽しそうな様子でした。